



2025年6月30日

各 位

会 社 名 ク リ ン グ ル フ ァ ー マ 株 式 会 社
住 所 大 阪 市 北 区 中 之 島 四 丁 目 3 番 5 1 号
Nakanoshima Qross 未来医療 R&D センター10 階
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 安 達 喜 一
(コード番号:4884 東証グロース)
問 い 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 村 上 浩 一
TEL.06-7653-6728

HGF（肝細胞増殖因子）のペロニー病への応用研究 に関する神戸大学との共同研究開始のお知らせ

当社は、この度、国立大学法人神戸大学（兵庫県神戸市）と HGF のペロニー病（陰茎硬化症）への応用研究に関する共同研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。

HGF は、抗線維化作用（線維化抑制、脱線維化）を有しており、様々な線維化疾患の治療薬となること
が期待されています。当社は現在、線維化疾患の一つである声帯癬痕を対象に第Ⅲ相臨床試験を進めてい
ます。また、金沢大学と特発性肺線維症への応用研究に関する共同研究を実施しております。

この度、線維化疾患への更なる適応拡大を目指し、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 先
端医療・製薬学分野の白川利朗教授（泌尿器科）とともに、線維化疾患であるペロニー病モデル動物を用
いた薬効薬理試験を行うこととなりました。ペロニー病については、線維化組織を直接治療する薬剤が求
められており、抗線維化作用を持つ HGF が新たな治療薬になる可能性があります。当社は本共同研究の成
果を活用し、線維化疾患の新たな臨床パイプラインの創製を積極的に推進してまいります。

なお、本件による当社の業績へ与える影響について、研究開発費に占める割合は軽微であります。

以上

ペロニー病（陰茎硬化症）について

陰茎海綿体白膜に線維性の良性のしこりが生じ、陰茎の湾曲や痛みを起こす疾患です。進行すると勃起
不全となり、性交障害の原因にもなります。米国の罹患率は成人男性の 0.5～13%、日本人男性では 0.6%
との報告があります（文献 1, 2）。治療法として、既にしこりのある病態に対する外科的治療や、線維成
分を分解する酵素であるコラゲナーゼを投与する薬物療法がありますが、国内ではコラゲナーゼ製剤は
承認されていません。

文献 1: Britt DiBenedetti D., et al. Adv Urol. 2011;282503.

文献 2: Shiraishi K., et al. J Sex Med. 2012 Oct;9(10):2716-23.

HGF（Hepatocyte Growth Factor, 肝細胞増殖因子）について

HGF は、成熟肝細胞の増殖を促進する因子として発見された生理活性タンパク質であり、その後の研究
から細胞増殖のみならず、細胞運動促進、抗細胞死、形態形成誘導、血管新生など様々な組織・臓器の再
生と保護を担う多才な生理活性を有することが明らかにされました。

HGF は神経保護作用や軸索伸展作用も有し、神経難病とされる脊髄損傷に対する薬理効果は、慶應義塾

大学再生医療リサーチセンター 岡野栄之教授及び整形外科教室 中村雅也教授らのグループの研究により明らかにされています。また、ALS に対する薬理効果は、東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 青木正志教授らのグループの研究により示されました。新たな神経難病治療薬として、HGF への期待が高まっています。

他方、京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 平野滋教授らのグループは、HGF の抗線維化作用に着目し、線維化疾患である声帯癬痕に対する薬理効果を明らかにしました。HGF には、声帯癬痕を端緒として、他の線維化疾患への適応拡大の可能性が期待されています。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象に HGF タンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、HGF タンパク質医薬品のレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする開発が第Ⅲ相臨床試験を終了し、製造販売承認申請に向けた準備を進めています。声帯癬痕を対象とする開発は第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

当社は、HGF タンパク質医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。